

商品開発



SDGs・CSR



Toyota

Urban area Countryside area

山村地域には自然という大きな資源があり、山村地域との関わり方は多様です。今までも商品開発や新しい働き方(半農半X)そして企業課題の解決など多様な関わりがありました。新しい企業価値や企業のあり方を私たちと創造してみませんか？

とよたの山里で 新しい企業価値を創造しませんか？



人材育成



新しい働き方



企業の事業企画の立案時から、山村地域に詳しいおいでん・さんそんセンターが伴走支援をいたします。事業のヒントとなる山村地域の情報や地域課題についても、お気軽にご相談ください。



つながる力でミライを変える。

おいでん・さんそんセンター

愛知県豊田市旭八幡町堂山432番地3 電話：0565-77-4203

FAX：050-3588-1301 E-mail：info@oidensanson.org



公式Webサイト

今までの事例

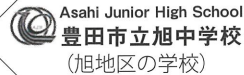
これまでのおいでん・さんそんセンターが関わった、企業と山村地域の事業の一例です。



山村地域で事業を行う企業のメリット

- 1 山村地域の資源をつかった新たな事業価値を見つけられます。
- 2 社会貢献・SDGsの実践の場として、山村地域をフィールドにできます。
- 3 山村地域ならではの多様な環境で社員研修なども行えます。
- 4 山や川、高原など自然が豊かで行くだけでリフレッシュできます。

商品開発



県内で飲食チェーンを展開するワイズと農家の畑作業を支援するモビリティ・ビレッジが青唐辛子のハラペーニョの栽培、加工、商品化を企画。地元の旭中学校の生徒が授業の一環で参画し、新商品の開発に共同で取り組んでいる。

SDGs・CSR



中部電力パワーグリッド



旭木の駅プロジェクト実行委員会
(旭地区の団体)



近年多発する自然災害から地域のライフラインを守ろうと、中部電力パワーグリッド豊田支社と旭木の駅プロジェクト実行委員会が連携して、支障木の予防伐採を実施。中部電力側にとっても、若手が伐採経験を積む研修の機会になっている。



タカドヤ高原湿地を守る会
(稲武地区の団体)



水源の森への感謝の気持ちから、トヨタ車体が「タカドヤ湿地」の保全活動を地元と協働で行っている。高齢化による担い手不足に悩む地元保存会を、社内の間伐ボランティアグループが支援している。

人材育成

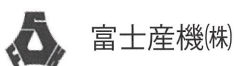


太田に陽だまりプロジェクト
(旭地区の団体)



ジェイテクトでは体験型の環境学習とボランティアを兼ねた活動を社員向けに実施。森林整備を行う地元団体と連携して、間伐や竹を使った工作体験などを行い自然に対する理解を深めている。

新しい働き方



富士産機(株)



KINOファーム RICE & VEGETABLES
(下山地区の農家)



新たな就業スタイルを模索する富士産機と、人手が欲しいKINOファームをマッチングし、新たな働き方(週3日工場、週2日農業)を実現した。

